※令和３年度以前入学生用

学校番号	2004

令和４年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理 B	単位数	２単位	学年	２年次
使用教科書	新詳地理 B（帝国書院）						
副教材等	最新地理図表 GEO（ジオ）（第一学習社）地歴高等地図（帝国書院）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちは、生きていく上での様々な問題に直面した際、「過去を振り返ったり」、「他と比較したり」して問題を解決しようとします。「地理 B」では、世界の様々な国や地域の自然や産業、文化や問題などを、私たちの暮らしと「比較」しながら、地理的に考える力を身につけることを目指します。

学習している「国際社会」の内容と、私たちの生活とのつながりを常に意識しながら、地球的な視野を持って学習を進めていきましょう。

2　学習の到達目標

・「世界の地理的事象についての基本的な知識」と「地図等を活用できる地理的技能」が身についている。
・社会の課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、人に伝えることができる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

a 関心・意欲・態度

自分が国際社会の一員であることを自覚し、国際社会の地理的課題を意欲的に追求する姿勢

評価方法

☆『授業中の様子』
『プリントの記述』など
・授業に自ら進んで取り組んでいるか。
・難しい課題にチャレンジしているか。

b 思考・判断・表現

国際社会の地理的課題について、地理的な見方・考え方に基づいて考え、それを文章や発表の形で表現する。

評価方法

☆『考査の論述問題』
『課題追求学習の発表』など
・地理的に考えたことが伝わるか。

c 資料活用の技能

国際社会の地理的課題について、地図・地球儀・統計調査などで情報を正しく読み取り活用する力

評価方法

☆『考査の資料問題』
『課題追求学習の情報収集』など

d 知識・理解

国際社会の地理的課題について、理解するための知識

評価方法

☆『考査の知識問題』
『課題追求学習の内容』など

★上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
１学期中間	様々な地図と地理的技能	≪地理Ｂの学習の導入≫ 基礎となる地理的技能を習得 基礎となる基礎的知識を習得				○	○ ○	a さまざまな地図に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b さまざまな地図の特徴やしくみを考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c 諸資料を適切に収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d さまざまな地図の読図方法や有用性を理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート
	地図の種類とその利用	≪地図を使いこなそう≫ 地図の種類やその利用について、球体を地図に表現した場合の特性が読み取れる 時差の求め方を理解・活用する。		○	○	○ ○	○		
１学期期末	世界の地形	≪南海トラフ地震はいつ発生？≫ 世界の地形を理解し、自然災害などの防災の在り方について考える。 地形の成因 大地形 小地形 その他の地形		○ ○	○ ○ ○	○ ○	○ ○	a 世界の地形について、分布や特徴、成因について関心を高め、それらと人間生活との係わりについて意欲的に追究し、とらえようとしている。 b 世界の地形を、分布や特徴と成因とを関連付けて考察し、また人間生活との係わりも多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現できる。 c 地形図や写真などの資料から有用な情報を適切に選択し、その地域の地形の特徴と成因を読み取れる。 d 世界の地形の分布や特徴、成因や人間生活との係わりについて理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト グラフ等読み取り

※令和３年度以前入学生用

学期	単元 (学習項目)	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準 (生徒の到達目標)	評価方法
				a	b	c	d		
2学期中間	世界の気候	≪異常気象って何故起こるの？≫ 世界の気候のしくみを理解し、異常気象などの環境問題について考える。 気候の成り立ち 世界の気候区分 気候と植生・土壌 変化する気候		○ ○	○ ○	 ○ ○ ○	 ○ ○ 	a 地域ごとの気候の違いや人間生活との関係に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b 気候の地域ごとの違いや特徴を、地球規模の循環現象などと関連付けて考察し、また人間生活との係わりも多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c 地域や気候区ごとの違いを示す諸資料から有用な情報を適切に選択し、その特徴や相違点などを読み取ることができる。 d 気候の成因、各気候区の特徴，気候変動と異常気象などについて、系統地理的にとらえる視点や考察方法、人間生活への影響などを理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート
2学期期末	世界の農林水産業	≪飢餓で苦しむ国と肥満大国≫ 世界の農林水産業のしくみを理解し、食糧需給の地域的かたよりなどの食糧問題について考える。 世界の農林水産業 農業区分 現代世界の食糧課題		○ ○	○ ○	 ○ ○	○ ○ 	a 農林水産業に対する関心と課題意識を高め、農業の成立条件などを踏まえてそれらを意欲的に追究し、とらえようとしている。 b 世界や日本の農林水産業の現状と課題を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 c 生産や分布の特徴に関する統計などの諸資料から、有用な情報を適切に選択し、農林水産業の現状や課題について読み取ることができる。 d 世界の農林水産業について、自然条件や社会条件の違いと関連付けて農業の地域区分や各農業の特徴を理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト 参加意欲 感想文 ワークシート

※令和３年度以前入学生用

学期	単元（学習項目）	学習内容	自己評価	主な評価の観点				単元の評価規準（生徒の到達目標）	評価方法
				a	b	c	d		
3学期	世界の鉱工業	≪OPEC とｵｲﾙｼｮｯｸ≫ 世界の鉱工業のしくみを理解し、石油情勢などの世界の資源・エネルギー問題について考える。 エネルギー資源の種類と利用 鉱産資源の種類と利用 資源･エネルギー問題		○ ○	○ ○	 ○ 	○ ○ 	ａ資源の特徴・利用法や、分布のかたより、生産・消費の不均衡などの資源・エネルギー問題の動向に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題などに関する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。 ｂ自然環境の学習内容をふまえて資源の特徴や利用法の課題、これからのエネルギー利用のあり方などを多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 工業の立地や発達に影響をおよぼす自然条件や社会条件をふまえて工業地域の発達と変化について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 ｃエネルギー資源や鉱産資源、工業生産や地域的分布に関する統計などの諸資料から有用な情報を適切に選択し、資源ごとの特徴や課題、また国や種類ごとの特徴や課題について読み取ることができる。 ｄエネルギー・鉱産資源の種類、分布、および利用法、またエネルギーのあり方などを理解し，その知識を身につけている。 工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題、及び日本の工業の特徴と課題を理解し、その知識を身につけている。	ノート テスト 参加意欲
	課題追求学習	≪共に生きる社会のために≫ 地理Ｂの授業で学習したことをもとに、現代の国際社会における地理的課題について追求し、発表する。 地球的課題研究 日本が抱える地理的課題の追求		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。